

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	長崎市 201
地域名 (地域内農業集落名)	黒崎 (赤首、下里、上里、畠杭、里道、小田平、高平、下出津、上黒崎、高尾、河内、迫、松本、永田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	18.8 18.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	17.2 ha
② 田の面積	2.4 2.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	16.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.45 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha

(備考)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集落内には道の駅「夕陽が丘そとめ」内の農産物直売所があり、直売所向けの野菜等が生産されているが、農業従事者の高齢化による後継者不足とそれに伴う耕作放棄地の増加が課題となっている。
- ・農産加工体験や郷土料理づくり、農業体験など、様々なグリーンツーリズム活動が盛んに行われているが、いずれも従事者の高齢化等が課題となっている。
- ・長崎伝統柑橘「ゆうこう」が生産されているが、生産者の減少が課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・「ゆうこう」等の特産農産物やその加工品のPR販売や、グリーンツーリズム体験メニューの充実など、外部から人を呼び込める環境整備を促し、農地の流動化と集落の活性化に取り組んでいく。
- ・既に特産化している、「ゆうこう」や「ぶどう」、「かんこう」のPRと消費拡大に向けた取組みを進めることで、さらなる需要喚起を図り、生産の増加と耕作放棄地の発生防止につなげる。
- ・グリーンツーリズム等の推進により、都市と農村部の交流機会を創出する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

- ・規模拡大意向のある担い手への農地の集積・集約化を基本として、農地中間管理機構の活用を進めながら、計画的な農地利用を行う。

(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	21.5 21.8 %	将来の目標とする集積率	82 %
--------	-------------	-------------	------

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

- ・団地の継続利用と効率化を進める。(令和15年度)

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

- (1) 農用地の集積、集団化の取組
 - ・農地中間管理機構を活用し、地域の農業を担う者への農地の集約を図る。
- (2) 農地中間管理機構の活用方法
 - ・農地中間管理事業の更なる周知を図りながら、農業を担う者への貸し付けを進め、将来の経営農地の集約化及び農地の利用集積を推進する
- (3) 基盤整備事業への取組
 - ・市単独の担い手農家支援特別対策事業を活用した小規模の基盤整備(狭地なおしや耕作道整備)の取組みを検討する。
- (4) 多様な経営体の確保・育成の取組
 - ・地域内外から担い手となる多様な経営体を募り、関係機関と連携して経営安定に向けた取組を進めていく。
- (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の事情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域ぐるみの捕獲隊を中心とした捕獲活動や、既存のワイヤーメッシュ柵の維持管理や新たな被害箇所への新設に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、

「作物実績面積には、基幹の作物の実積を記載してください。また特定農作物
経営面積に含めてください。」

5:参考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

（くわい。）

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1 認農		ぶどう 露地野菜	0.83 ha	- ha	ぶどう 露地野菜	0.83 ha	- ha	1	
2 到達者		ぶどう 露地野菜 トマト	0.64 ha	- ha	ぶどう 露地野菜 トマト	0.64 ha	- ha	2	
3 到達者 認農		肉用牛(繁殖)	1.98 ha	- ha	肉用牛(繁殖)	1.98 ha	- ha	3	
4 認就 認農		露地野菜 施設野菜	0.38 ha	- ha	露地野菜 施設野菜	0.38 ha	- ha	4	三重
5 利用者		水稻 露地果樹	0.04 ha	- ha	水稻 露地果樹	0.04 ha	- ha	5	
6 利用者		露地果樹	0.40 ha	- ha	露地果樹	0.40 ha	- ha	6	
7 到達者		露地野菜	0.22 ha	- ha	露地野菜	0.22 ha	- ha	7	
8 利用者		露地野菜	0.30 ha	- ha	露地野菜	0.30 ha	- ha	8	
9 利用者		水稻 露地野菜	0.85 ha	- ha	水稻 露地野菜	0.85 ha	- ha	9	
10 利用者		露地野菜	0.00 ha	- ha	露地野菜	0.45 ha	- ha	10	
11 利用者		露地野菜	0.17 ha	- ha	露地野菜	0.17 ha	- ha	11	
12 利用者		露地果樹	0.80 ha	- ha	露地野菜	0.80 ha	- ha	12	
13 利用者		養豚	- ha	- ha	養豚	- ha	- ha	13	
14 利用者		肉用牛(繁殖)	- ha	- ha	肉用牛(繁殖)	- ha	- ha	14	
15 利用者		果樹	0.50 ha	- ha	果樹	0.50 ha	- ha	15	
16 利用者		露地野菜	0.12 ha	- ha	露地野菜	0.12 ha	- ha	16	長浦・戸 根・戸根原
17 利用者		バナナ パパイヤ	0.30 ha	- ha	バナナ パパイヤ	0.30 ha	- ha	17	
18			ha	ha		ha	ha		
19			ha	ha		ha	ha		
20			ha	ha		ha	ha		